

塗装仕様

標準工法									
工 程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)	
								工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水 分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイトンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリッシャーまたはライナッ クス等で下塗りが含ま浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・ 泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。								
下塗り①	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	—	ハケ ローラー	1	0.16～0.20 (フィラー含む)	83～103	1h以内	4h以上 48h以内	—
下塗り②	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg	—	ハケ ローラー	1	0.12～0.16	88～117	1h以内	4h以上 48h以内	—
上 塗 り	ボウジンテックス エポワイド 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	—	ハケ 短毛ローラー	1	0.50～0.80	18.8～30	30分以内	—	16h以上 完全硬化2日以上

●汚染防止仕様

上塗り	ボウジンテックス マークストップ 16kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.10～0.12	133～160	—	—	16h以上 完全硬化3日以上
-----	--------------------------	-----	------------	---	-----------	---------	---	---	-------------------

※ボウジンテックス エポワイドの上塗りとしてボウジンテックス マークストップを塗装することにより汚染防止効果が向上します。
※塗付量は条件により増減します。
※冬季は、10℃以下の低温とならず、見かけ上乾燥していても実際は硬化不充分でクラックや剥離を生じる場合がありますので、エポワイド塗装後のマークストップは施工不可となります。

●防滑仕上げ

工 程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)	
								工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水 分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリッシャーまたはライナッ クス等で下塗りが含まる下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。								
下塗り①	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	——	ハケ ローラー	1	0.16～0.20 (フィラー含む)	83～103	1h以内	4h以上 48h以内	——
下塗り②	ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg	——	ハケ ローラー	1	0.12～0.16	88～117	1h以内	4h以上 48h以内	——
上 塗 り	ボウジンテックス エポワイド 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	——	ハケ 短毛ローラー	1	0.50～0.80	18.8～30	30分以内	——	16h以上 完全硬化2日以上
珪砂散布	上塗り塗装と同時に5号珪砂(0.2～0.4kg/㎡)を均一に散布し、直後にもう一度ローラーを転がす。								

●その他の下塗り材

下塗り①	ボウジンテックス ハイEプライマーⅡ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg フィラー2.5kg	0～5% #2000シンナー	ハケ ローラー	1	0.16～0.20 (フィラー含む)	83～103	1h以内	3h以上 48h以内	—
下塗り②	ボウジンテックス ハイEプライマーⅡ 主剤10.5kg 硬化剤3.5kg	0～5% #2000シンナー	ハケ ローラー	1	0.12～0.16	88～117	1h以内	3h以上 48h以内	—

※研砕機等にて下地処理を行った場合はハイEプライマーⅡが塗装可能です。

■塗り替え工法

工 程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)	
								工程間	歩行可能
素地調整	旧塗膜上の、ゴミ、ホコリ、油脂類等は除去し、清浄な素地面とする。								
上 塗 り	ボウジンテックス エポワイド 主剤12.5kg 硬化剤2.5kg	—	ハケ 短毛ローラー	1	0.50～0.80	18.8～30	30分以内	—	16h以上 完全硬化2日以上

※アクリル旧塗膜面の塗り替えは、旧塗膜の密着性(ゴパン目)を確認するとともにテスト塗りを行ってください。
※耐溶剤性が悪い水系1液型アクリル旧塗膜には下塗りとして水系ボウジンテックス プロエポプライマーを塗装してください。

注意事項

仕様全般

- 気温5℃以下、相対湿度80%以上のときは、硬化不良を起こすことがありますので施工を避けてください。
- エポキシ樹脂塗料は直射日光により変色致しますので、外部への塗装は避けてください。なお、日差しの入り込む窓際への塗装もご注意ください。
- 旧塗膜の種類によりフタティングが生じる場合がありますので事前にテストしてください。
- 冬季施工においては、塗料粘度が高いため、短毛ローラーで塗装しても抜け毛が目立つ場合がありますので、ご了承ください。
- 下塗りの塗付量が下限値以下の場合は剥離の可能性あります。
- 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
- 換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
- 低温時に施工した塗膜は水と接触すると表層白化する場合があります。施工後の清掃において水拭きした場合、塗膜表面が白化しますので空拭きにて清掃してください。万一、水を含んだモップ等にて清掃した場合、水を含んでいないモップにて水分を完全に拭き取ってください。
- 静電気をきらう床には塗装しないでください。
- 施工時および施工終了後において、充分な換気を行ってください。
- 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

塗料に関する注意

- 使用前には充分攪拌してください。
- 希釈すると硬化・硬度および色ムラ等に悪影響を与えますので、希釈は絶対にしないでください。
- 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分ご注意ください。
- 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の割合割合で混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。
- 2液型塗料は、塗料ごとの可使用時間内に塗装してください。また、気温が高い場合極端に可使用時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
- 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
- 2液型塗料の主剤と硬化剤は別々に密栓し冷蔵所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
- 調合した残液は反応して高温になり危険ですので、水を10cm程度はってください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 材料の保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。

カラーサンプル

		
No.21 フレッシュグリーン	No.9 ライトグリーン	No.10 グリーン
		
No.22 ハーモニーグリーン	No.30 フィーバーグリーン	No.23 オリーブ
		
No.25 ブルーグレー	No.24 アクアグレー	No.19 ライトグレー
		
No.32 グレー	No.16 ライトベージュ	No.17 ベージュ
		
No.26 サンドベージュ	No.27 モカブラウン	No.28 ゴールドブラウン
		
No.1 オレンジブラウン	No.29 ニューブラウン	

注)この色見本は印刷によるもので現物の色とは差があります。
発注の際は、色見本帳または塗り板で色を確認してください。

硬化時間

気 温	硬化剤	可使用時間	歩行可能時間	完全硬化
30℃	S型	30分	16h以上	2日以上
20℃	M型	30分	16h以上	2日以上
10℃	W型	30分	20h以上	3日以上

ハイソリッド弱溶剤系
2液型エポキシ樹脂塗料

ボウジンテックス
エポワイド



- 高耐久性(中膜)
- 1回塗り
- 高光沢・高レベリング
- 容易な塗り替え

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更場合がありますので、あらかじめご了承ください。
2609050384659

優れた作業性、耐久性、高光沢

溶剤臭が極めて少なく、1回の塗装で高光沢と高耐久性を持つ床面が得られるハイスリッドタイプ。食品工場や機械工場等に適しています。また旧塗膜の上からでも、ほとんどの場合、下塗り無しで直接塗装が可能。さまざま



特長・用途

特長

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒドの発散は少ない
建築基準法、建築材料の区分は規制対象外となっている

1

1回のローラー塗装でハイスリッドの塗膜を形成する

2

溶剤臭が極めて少ない

3

旧塗膜の種類により、下塗りなしで直接塗装可能

4

溶剤系1液型アクリル旧塗膜の上に直接塗装が可能

5

高光沢と優れた耐久性

6

防滑仕上げも可能

用途

1

強い溶剤臭をきらう一般工場、事務所

2

耐摩耗性、耐薬品性が要求される機械工場や印刷工場

3

防滑性を必要とする屋内パーキング(防滑仕上げ)

4

旧塗膜面の塗り替え

※大量の水および熱水がかかる床面には不適です。
※次亜塩素酸ナトリウムを使用すると塗膜が変色する可能性があります。

一般工場・倉庫

運搬車使用工場

機械工場

化学薬品工場・印刷工場

食品工場

自動車修理工場

事務室・ロビー

電気室・機械室

店舗・通路

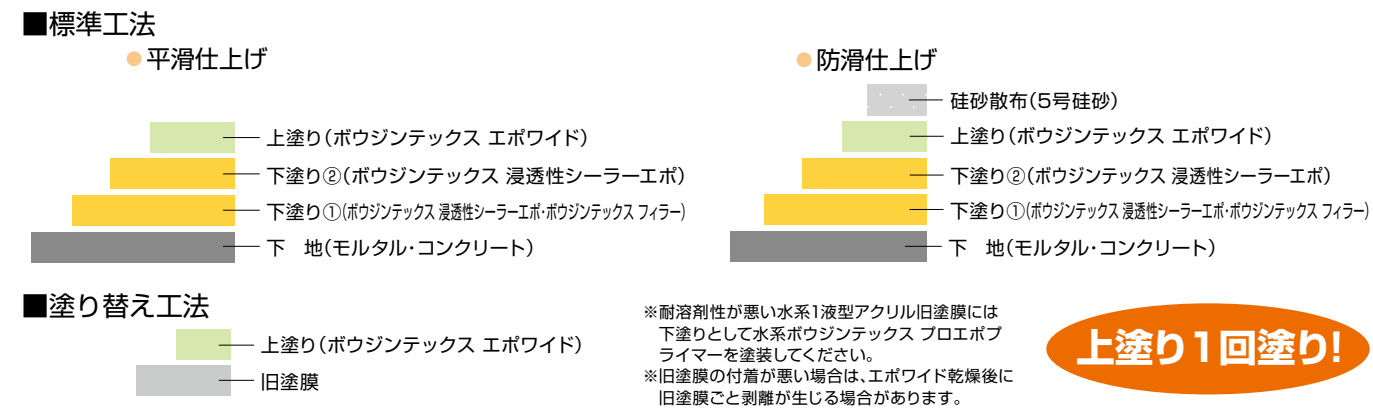
屋内パーキング

車両通行通路

歩行者専用通路

階段・廊下

塗装工程



上塗り1回塗り!

準備するもの



役 割 分 担 施工をスムーズに行うためにあらかじめ役割分担を決めます。



重 要

- 主剤と硬化剤を混ぜたものを缶の中に入れてそのままにしておくと10分で使えなくなりますので、すぐ床にまいてください。
- 主剤と硬化剤を混ぜていないものは硬化しませんので、混ぜる係の人が責任をもって最初から最後まで専任してください。

施 工 要 領



性 能 ・ 荷 姿

性 能			荷 姿	
試験項目	試験方法	結 果		
鏡面光沢度	JIS K 5600-4-7に準ずる。 ガラス板に塗付500μm, 60度	95以上	■上塗り材 ボウジンテックス エポワイド 15kgセット (主剤 12.5kg／硬化剤 2.5kg) 4kgセット (主剤 3.33kg／硬化剤 0.67kg)	
1. つかき硬度 (鉛筆法)	JIS K 5600-5-4に準ずる。 すり傷	F	■下塗り材 ボウジンテックス 浸透性シーラーエポ 14kgセット (主剤10.5kg／硬化剤3.5kg) 3.2kgセット (主剤2.4kg／硬化剤0.8kg)	
2. 耐 摩 耗 性 (mg) (摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる。 摩耗輪CS-17荷重500g×2, 1000回転	45±5	ボウジンテックス ハイEプライマーⅡ 14kgセット (主剤10.5kg／硬化剤3.5kg) 4kgセット (主剤3kg／硬化剤1kg)	
3. 耐 水 性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 水道水に7日間浸せき	異常なし	水系ボウジンテックス プロエポプライマー 12kgセット (主剤4kg／硬化剤8kg) 3kgセット (主剤1kg／硬化剤2kg)	
4. 耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 炭酸ナトリウム5%水溶液に48h浸せき	異常なし	■副資材 ボウジンテックス フィラー 5kg	
5. 耐 酸 性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 硫酸5%水溶液に48h浸せき	若干 艶引け		
6. 耐 温 水 性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 50℃温水に48h浸せき	異常なし		
ホルム アルデヒド 放散量	JIS K 5970 デシケート法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆☆		